・ヤクルト本社に応募するにあたっての想いを述べてください。

私が貴社に興味を持ったのは大学１年生の時に参加した茨城工場の見学がきっかけです。そこで創始者である代田稔博士の理念について説明を受け、予防医学に深い関心を持ちました。私は幼少期の頃は体が弱く、よく病気にかかっていました。ときには40度近い熱をだし、両親を心配させたそうです。そこで予防接種の一環として小学生の頃からヤクルト製品を飲んでいました。その甲斐もあり、小学校3年生から病院に行くような大きな病気にはかからず、健康に暮らせています。私はこの経験から人生において「健康」が何よりも大切だと考えるようになりました。貴社の製品で予防医学の大切さを実感してもらい、健康に生活を送る手助けをしていきたいです。

・選択した職種を希望する理由と、将来どのように活躍したいか教えてください。

私が商品開発技術研究の職種を希望した理由は安心・安全にお客様の下にお届けしたいためです。私は食の楽しみは安心・安全があって初めて成り立つものだと考えます。この職種に就くことで、貴社の製品を使っていただくすべてのお客様に容器包装の面で安心してご利用してもらえる開発を行いたいです。また、高い開発力で開発された貴社の製品の品質を落とさず、お客様の下へお届けしたいという思いからこの職種を希望しました。私は食品の完成とは製造までではなく、お客様に飲んでいただくまでが完成だと考えます。お届けする過程で品質が損なわれたらそれは未完成です。これまで以上に品質を維持する容器包装技術を開発することで貢献したいです。

・学生時代に最も頑張ったこと、チャレンジしたこと

私が学生時代に最も頑張ったことは英会話です。大学３年生の春にベトナム旅行に行ったことをきっかけに海外の方と交流をする楽しさを知りました。もっとコミュニケーションをとれるようにしたかったので英会話に週５日通いました。始めは自分の伝えたいことが伝えられず、一方的に話してもらうばかりで会話が成立しませんでした。そこで前もって話す内容を決め、あらかじめ必要となる単語や文法の勉強をして臨みました。また授業のとき以外にも講師の下へ頻繁に足を運び、積極的に生活の中に英語を取り入れる努力をしました。これを７ヶ月間継続したことにより完璧に正しい文章ではありませんが、コミュニケーションをとれるようになりました。

・この経験から学んだ「あなたならではの強み」

私はこの経験から相手の話を聞くことの大切さを学びました。これは外国の方に限ったことではなく、初めてお会いした人と話すときに全般に言えます。私はついつい自分の話ばかりしてしまうことが多かったのですが、いかに相手の相手自身の話をしてもらえるかがコミュニケーションをとるうえで大切だと学びました。これから社会に出ると今まで以上に初めて会う方と会話をする機会が増えます。ここで学んだ経験を活かし、良好な人間関係を築きたいです。

・あなたの好きなこと・ものについて相手が関心を持つように自由にアピールしてください。

私はおいしいものが大好きで、暇さえあればおいしいものを求めて食べ歩いています。なかでも都営三田線三田駅から徒歩５分の「ちからや」という焼肉屋のハラミは絶品です。軽く火が通るくらいに炙り、甘いにんにくタレに付けて食べるとお肉が口の中でとろけて白米との相性が抜群です。また焼き方にもこだわりがあり、都内でも数少ない「溶岩石無煙ロースター」を使用しています。溶岩石は遠赤外線が強く最高温度が600度にもなり、肉汁を逃さずおいしく食べることができます。最高級においしいハラミをぜひ一度食べてみてください。